



女木島
Megijima

8月11日 | 金・祝日 | - 20日 | 日 |

愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム

「他力本願寺」

”お経”、”まわりみくじ”、”宗教絵画”による「他力本願寺」という仮想寺院を表現。出品者自身によるパフォーマンスも。

鑑賞時間 ▶ 10:40-16:30 場所 ▶ 女木島 MEGI HOUSE 鑑賞料 ▶ 300円
出品者 ▶ 羽田 光、中村 明、田村 啓 パフォーマンス ▶ 8月11日(金・祝日)・12日(土)・13日(日) 11:40、15:00 事前申込 ▶ 不要



8月18日 | 金 |

女木島名画座上映会

金曜日の夜に島に渡り、北川フラムの映画解説で中川幸夫のドキュメンタリー作品を鑑賞する。さらに大竹伸朗「女根/めこん」特別夜間開館、レストラン イアラ 女木島でディナーを楽しみ、最後は美しい夜景を見ながらチャーター船で高松に帰る、贅沢な大人のプログラム。

鑑賞時間 ▶ 17:40-21:10 場所 ▶ 女木島 ISLAND THEATRE MEGI「女木島名画座」
(依田洋一朗作品) 料金 ▶ 8,000円(食事代、船代、作品鑑賞代込) *ドリンク代別
内容 ▶ 孤高のいけばな作家・中川幸夫のドキュメンタリー作品「華 いのち 中川幸夫」を上映

中川幸夫 ▶ 香川県丸亀市出身の前衛いけばな作家。華道家。芸術家。2012年3月30日、老衰のために死去(93歳没)
<案内人> 北川フラム(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)
<料理人> 松内日出男(女木島出身。瀬戸内の旬の食材を味わえる創作和食のお店「鬼旬」で腕を振るう。)
志村みづえ(いけばな作家。帝国ホテル東京装花等展覧会多数。ライフワークとして「食花」を展開。)

定員 ▶ 30名 お申込・お問合せ ▶ 新日本ツーリスト(株) 087-823-5678 <https://www.kotobus-tour.jp/tour/s/s223.html>



栗島・多度津・本島
瀬居島・高松港など

8月19日 | 土 |

切腹ピストルズ「縦横無尽」

瀬戸内国際芸術祭2016で圧倒的な人気を博した切腹ピストルズが、今年も再び瀬戸内に現れる。夏は栗島・多度津・本島・瀬居島・高松港などに縦横無尽に出没する。秋は直島・男木島・小豆島。伊吹島に出没予定。2017年も圧倒的なパフォーマンスで、瀬戸内に賑わいをもたらす。

出没予定 ▶ 10:10頃 栗島芸術家村
12:00頃 多度津港
13:20頃 本島港 - 14:00頃 木島神社
14:50頃 瀬居島本浦港
15:20頃 瀬戸大橋記念公園 - 15:40頃 藤本修三「八人九脚」前
17:40頃 高松港 大巻伸嗣「Liminal Air -core-」前

*天候・交通事情により一部行程および時刻の変更がある場合があります。



ART SETOUCHIは、3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭の開催年以外の年も、会場となった島に引き続き残る芸術祭の作品を通して、地域の活力を取り戻し、再生を目指す活動の総称です。2017年度も常時ご鑑賞いただける屋外作品に加えて、土日祝日を中心に一部の芸術祭作品を公開しています。8月は他の月より開館日・開館作品が多くなっています。詳しくは、公式ホームページ(setouchi-artfest.jp)をご覧ください。

9月1日(金) - 11月30日(木)

宇野港「連絡船の町」プロジェクト

第3回「撮り船」フォトコンテスト

『宇野港「連絡船の町」プロジェクト』を展開し、連絡船にまつわる写真を世界各地から集めるフォトコンテストを開催。アルバムに残っているお宝写真や、最近撮った渾身の1枚など募集。

テーマ ▶ 「連絡船」(連絡船の写真)、「連絡船と生活」(連絡船とそこで生活する人を捉えた写真)、「連絡船と港」(連絡船と港の風景を捉えた写真) 詳細 ▶ 宇野港「連絡船の町」プロジェクト公式ウェブサイト <http://archive.city.tamano.lg.jp/renrakusen/>



9月10日(日)

島のお誕生会 毎月1回開催

主に島キッチンのテラスで毎月開催している「島のお誕生会」。島を訪れたお客さんや島のみなさん、島キッチンのお母さんたちやこえび隊がみんなで、その月にお誕生日を迎える方をお祝い。9月は豊島小中学校体育館に作曲家の青島広志が登場。

鑑賞時間 ▶ 14:00-15:00 場所 ▶ 豊島小中学校体育館 鑑賞料 ▶ 無料
ゲスト ▶ 青島広志 事前申込 ▶ 不要



9月16日(土) - 24日(日)

愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム

展覧会 女木島「光射の器／島の影」

女木島の家屋が有するオオテを「大切なものを守り紡ぐ殻」とし、囲まれた場を「祝福の器」と捉え、そこに作品の居所を求める。

鑑賞時間 ▶ 10:40-16:30 場所 ▶ 女木島 MEGI HOUSE 鑑賞料 ▶ 300円
事前申込 ▶ 不要



9月18日(月・祝日) - 10月1日(日)

愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム

演奏会 MEGI HOUSE CONCERT

「アンサンブル瀬戸内」ファーストインプレッション

「印象」をキーワードにして、ラヴェルやドビュッシー等の印象派や光の音楽、お天気データによる音楽、エレキ・チェロ、サスカイト等も使ったコンサート。

開場 ▶ 14:15 開演 ▶ 14:30-15:30 場所 ▶ 女木島 MEGI HOUSE 入場料 ▶ 300円
事前申込 ▶ 不要



9月23日(土・祝日) - 24日(日)

劇団桃唄309「風が吹いた、帰ろう」

一とある病気のいまとむかし そしてふへんのあいについて

東京・高円寺を中心に活躍する劇団桃唄309が大島の取材を通じて制作した演劇。2010年から瀬戸内国際芸術祭の舞台となっている大島は、1909年にハンセン病の療養所が設立され、入所者の方々は、厳しい偏見や差別と、長期にわたる国の隔離政策により、言葉では語りつくせないほどの辛く悲しい経験をされた。その大島の歴史や生活、そこに暮らした人々に思いを馳せ物語をつくり、2016年春に東京で公演した演劇を再演。

戯曲・演出 ▶ 長谷基弘

開演 ▶ 9月23日(土・祝日) 18:30-20:30、9月24日(日) 14:00-16:00

場所 ▶ サンポート ホール高松 第1小ホール(高松市サンポート2-1)

入場料 ▶ [前売券] 一般2000円 小中高生1000円 [当日券] 一般2500円 小中高生1500円

チケット取り扱い ▶ サンポートホール高松プレイガイド087-825-5008(9:00-18:30)、イープラス<<http://eplus.jp>> →「ART SETOUCHI」で検索、劇団桃唄309ウェブサイト予約システム www.momouta.org/mts

